

つくってあそぼう☆ (広島大学)

◎チーム紹介

私たち、「つくってあそぼう☆」は広島大学教育学部の19人からなるチームです。七夕飾りなどの季節に合わせた工作や、割り箸を使ったグライダー、廃材であるフィルムケースを使ったオカリナなど、様々な物を作ります。普段体験できないことをこの教室で一緒に体験できたらなと思っています。子どもたちが嬉しそうに作品を持って帰る姿が、私たちのやりがいとなっています。皆さん、放課後子ども教室で一緒に工作を楽しみませんか？

◎活動の様子

活動教室：三ツ城わくわく広場（東広島市）

日 時：平成24年10月4日（木）15：00～17：00

場 所：三ツ城コミュニティハウス

参加人数：4名（大学生ボランティア）、27名（子ども）



今日は、10月末のハロウィンに向けての作品作りをしました。

初めは、ぼうし作りです。半円の画用紙に、子どもたちが、自分の好きな絵を描いていきます。学生や友だちと楽しそうに話をしながら進めました。

完成したぼうしをかぶって、子どもたちは「おみやげができた」と言って、嬉しそうでした。



次は、ガイコツ作りです。A3の用紙を半分に折り、コピーしてある線をどんどん切っていきます。切り終えて、用紙が破れないようにゆっくり開くと、あら不思議。身長70cmくらいのガイコツが現れました。子どもたちは、協力し合って、ガイコツ作りをしました。学生たちは、子どもたちの活動を見守り、子どもの自主性を大切にしながら、活動していました。一度開いたガイコツを元通りに折っていくのが大変だったようです。

◎大学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 子どもたちが楽しみながら活動している姿が見られてよかったです。
- ・ 活動の構成や題材などの改善点を知ることができ、今後の活動にいかしていきたいです。
- ・ 子どもたち（多人数）と活動する機会が少ないので、放課後子ども教室はとても貴重な場だと思うので、今後も活動したいです。

◎市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 「ハロウィン」に向けての「ぼうし作り」と「ガイコツ作り」、季節に合った作品をいつも心がけて考えてきてくれます。
- ・ 子どもたちが普段、なかなか体験（学習）できないことを計画してくれるので、とても嬉しいです。
- ・ 子どもたちは、いつも満足して帰っています。

つくってあそぼう☆ (広島大学)

平成
23年度

◎チーム紹介

「つくってあそぼう☆」は、広島大学教育学部の5名からなるチームです。

活動内容は、「万華鏡」、「とびだす絵本」、「紙ヒコーキ」、「クリスマスツリー」などの製作です。ものの製作を通して子どもたちとの交流が深まればと思っています。

皆さん、放課後子ども教室で工作を楽しみませんか。

◎活動の様子

活動教室：東広島市三ツ城わくわく広場

日時：平成23年7月9日（土） 10:00～12:00

場所：三ツ城小学校

参加人数：4名（大学生ボランティア）、16名（子ども）



この日は、子どもたちが持っているイメージとは違う万華鏡作りに挑戦しました。
子どもたちは、いろいろと工夫しながら自分だけの万華鏡作りに取り組みました。



子どもたちが持っているイメージとは違う素敵な万華鏡が出来上がり、みんな大喜びでした。
子どもたちは、作品を大切に包装し、喜びいっぱい、帰りました。
また、大学生と一緒に活動する機会を楽しみにしている様子でした。

○学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

自分たちが思っていた以上に子どもたちが工夫して作っているのが嬉しかったです。

○市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

子どもたちは、自分たちと年齢の近い大学生との活動をいつも楽しみにしています。今日も、とても喜んで活動していました。

また、大学生も、子どもたちの反応から、多くの学びや喜びがあると話してくれました。